

法 学 第 129 号
平成 29 年 5 月 9 日

各 私 立 学 校 長 様
(小・中・高・特)

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

平成 29 年度キャリア教育指導者養成研修の実施について

このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

なお、貴校において参加を希望される場合は、別紙「推薦名簿」に記入のうえ、平成 29 年 5 月 19 日（金）までに当課宛て御提出願います。

また、期限までに提出がない場合は、希望なしとして取り扱うことを申し添えます。

【担当】私学振興担当 半田

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

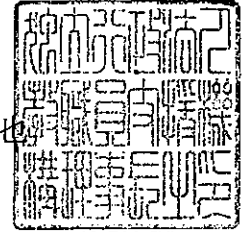
メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

独教次調第9号
平成29年5月1日

各都道府県知事
殿
附属学校を置く各国立大学法人の長

独立行政法人教職員支援機構

理事長 高岡 信也



(印影印刷)

平成29年度キャリア教育指導者養成研修の実施について (依頼)

日頃から、独立行政法人教職員支援機構の研修事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

標記の研修につきまして、別添の実施要項に基づき実施することといたしました。

については、受講者の推薦がある場合は、別添の実施要項中「5 受講者(4) 推薦手続」によらず、別紙「推薦名簿」を平成29年5月26日(金)までに、電子メールにて下記宛てに御提出ください。実施要項、推薦名簿等は、当機構ホームページ (<http://www.nits.go.jp/>→研修・セミナー→機構が行っている研修→⑤喫緊の教育課題に対応する指導者養成研修→キャリア教育指導者養成研修) よりダウンロード可能となっております。

また、本研修は、各地域において、本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等が受講者により行われることを目的としております。貴職におかれましては本研修の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしく申し上げます。受講者には、研修終了1年後に成果活用状況について調査することとしております。

なお、女性の更なる活躍が期待されることから、当機構としては、女性の受講者の一層の増加を目指しています。各都道府県・各国立大学法人におかれましては、女性の積極的な推薦について御配慮願います。

【本件担当】

独立行政法人教職員支援機構

次世代型教育推進センター 一ツ橋事務所

調査企画課 調査企画係 (横澤、中嶋、石田)

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

学術総合センター11F

TEL 03-4212-8450

FAX 03-4212-8466

E-mail: kyouikul-3@ml.nits.go.jp



平成29年度キャリア教育指導者養成研修 実施要項

1 目的

キャリア教育を担当する指導主事等に対し、発達段階に応じたキャリア教育の在り方、校内外の連携を踏まえたキャリア教育推進のための具体的な手立て、キャリア教育の評価・改善方策について、各学校や地域における研修のマネジメントを推進する指導者として必要な知識等を習得させ、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等を行うことのできる指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構、富山県教育委員会

3 共催 文部科学省

4 期間・会場

回	期間	会場	都道府県
第1回	平成29年 8月28日(月) ～9月1日(金)	パレプラン高志会館 〒930-0018 富山県富山市 千歳町1-3-1	青森県、宮城県、山形県、群馬県、埼玉県、 千葉県、神奈川県、富山県、福井県、長野県、 静岡県、三重県、京都府、兵庫県、和歌山県、 島根県、広島県、徳島県、愛媛県、福岡県、 長崎県、大分県、鹿児島県
第2回	平成29年 10月23日(月) ～10月27日(金)	同上	北海道、岩手県、秋田県、福島県、栃木県、 茨城県、東京都、新潟県、石川県、山梨県、 岐阜県、愛知県、滋賀県、大阪府、奈良県、 鳥取県、岡山県、山口県、香川県、高知県、 佐賀県、熊本県、宮崎県、沖縄県

5 受講者

(1) 受講資格

- ・都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- ・小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校並びに特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭であって、各地域において本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者
- ・当機構の修了証書をもって単位認定を行う(予定も含む)教職大学院の学生

(2) 女性の研修参加の促進

指導的地位における女性の占める割合が高まることが期待されることから、当機構としては、女性の受講者の一層の増加を目指している。推薦者におかれては、女性の積極的な推薦について御配慮願いたい。

(3) 推薦人数

各都道府県（中核市含む）においては2名、指定都市においては1名とする。

なお、各都道府県知事部局所管及び附属学校を置く各国立大学法人、市町村立及び学校組合立を置く各市町村及び学校組合教育委員会、教職大学院を設置する各国立大学法人、教職大学院を設置する各私立大学については、推薦人数を設けない。

参加する校種が小学校以外のものは、担当教科（指導主事等にあつては希望教科）を記載すること。

(4) 推薦手続

各都道府県・指定都市教育委員会において受講予定者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により、平成29年5月26日（金）までに推薦を行う。

(5) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦に基づき、独立行政法人教職員支援機構が決定し通知する。

なお、受講者は原則として推薦のあったとおり決定するが、推薦状況によっては独立行政法人教職員支援機構において調整を行う場合がある。

6 研修内容、対象

別紙「日程表」のとおりとする。演習や協議については、20名の単位（ユニット）を基本として取り組む。

※1～3日目、5日目午後：両コース共通

4日目、5日目午前：経営コースと推進コースに分かれて実施
（「講義・演習」「課題協議」は共通）

7 各コースの対象及び内容

【経営コース】

（対象）・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等
・校長、副校長、教頭等

（内容）演習等を通してキャリア教育を域内や校内で推進する上で必要な連携体制の在り方やキャリア教育の評価・改善方策などを協議する。

【推進コース】

（対象）・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等
・主幹教諭、指導教諭、教諭

（内容）演習等を通して各教科等においてキャリア教育の充実を図るための指導の在り方や工夫、個に対する指導の在り方などを協議する。

8 事前課題

演習で使用するため、受講者は事前に次の資料を作成する（別紙様式1、2）。提出方法等詳細については、決定通知の際に連絡する。

(1) キャリア教育を推進する上での課題について、資料を作成する。

(2) 職場見学・職場体験・インターンシップ等の実施に向けた事前指導3時間、事後指導3時間の内容等について、キャリア教育のプログラムを作成する。

なお、当機構、文部科学省及び国立教育政策研究所のホームページ上で公開している次の講義、報告書等を必ず参照し、上記資料を作成する。

○「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（中央教育審議会答申）
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1301877.htm

○学校が社会と協働して一日も早くすべての児童生徒に充実したキャリア教育を行うために
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/12/_icsFiles/afieldfile/2011/12/09/1313996_01.pdf

○中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会 教育課程企画特別部会における論点整理について
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/sonota/1361117.htm

○パンフレット

『キャリア教育の更なる充実のために』（教育委員会向け）

http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/kyouiku_career/yakuwari.htm

『学校の特色を生かして実践するキャリア教育』

http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/23career_shiryou/23career_shiryou.html

『キャリア教育をデザインする「今ある教育活動を生かしたキャリア教育」』

<http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/design-career/design-career.html>

『学習意欲の向上を促すキャリア教育について』

http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/career_jittaityousa/career-report_pamphlet.htm

『子供たちの「見取り」と教育活動の「点検」－キャリア教育を一步進める評価－』

http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/career_jittaityousa/career-report_pamphlet2.htm

『「語る」「語らせる」「語り合わせる」で変える！キャリア教育』

http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/career_jittaityousa/career-report_pamphlet3.htm

○手引き

『小学校キャリア教育の手引き<改訂版>』

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/1293933.htm

『中学校キャリア教育の手引き』

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/1306815.htm

『高等学校キャリア教育の手引き』

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/1312816.htm

※上記の手引きは該当校種手引きが、全ての学校に2部配布してあります。

9 その他

- (1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。
- (2) 本研修終了後、受講者アンケート等を行う。また研修終了から一定期間（約1年）経過後に、研修成果の活用について、受講者に対するアンケート調査を行う。
- (3) 原則として宿泊研修とし、宿泊の手配等については各自で行う。

平成29年度 キャリア教育指導者養成研修 日程表 (案)

【第1日目】	9:30 - 10:00	開講式	10:00 - 12:30	講義 「キャリア教育の現状と課題」 「本研修の進め方」	12:30 - 13:30	昼休み	13:30 - 14:45	講義 「新学習指導要領とキャリア教育①特別活動」	14:45 - 15:00	休憩	15:00 - 17:00	事例発表・協議 「発達段階に応じたキャリア教育①」の進捗を協議して」 目的：キャリア教育における校種連携について考え、課題を整理する。
	第1回 8月28日 (月) 第2回 10月23日 (月)	目的：キャリア教育の背景や必要性に加え、キャリア教育の推進に関する最新の動向を理解するとともに本研修の5日間の見通しを持つ。	講義 「キャリア教育の現状と課題」 「本研修の進め方」	目的：新学習指導要領におけるキャリア教育の方向性を確認するとともに、キャリア教育の中核の時間となる「特別活動」について理解を深める。	事例発表・協議 「発達段階に応じたキャリア教育①」の進捗を協議して」	目的：キャリア教育における校種連携について考え、課題を整理する。						

【第2日目】	8:30 - 10:25	事例発表・協議 「発達段階に応じたキャリア教育②」の進捗を協議して」	10:25 - 10:40	休憩	10:40 - 12:00	講義 「発達段階に応じたキャリア教育③」	12:00 - 13:00	昼休み	13:00 - 14:15	講義 「発達段階に応じたキャリア教育④」 地域と協働して進めるキャリア教育の必要性」	14:15 - 14:30	休憩	14:30 - 17:00	事例発表・協議 「発達段階に応じたキャリア教育⑤」の進捗を協議して」 小学校 中学校 高等学校 目的：校種別に学校と地域の協働によるキャリア教育の具体を考え、成果と課題を整理する。
	第1回 8月29日 (火) 第2回 10月24日 (火)	目的：キャリア教育における校種連携について考え、課題を整理する。	講義 「発達段階に応じたキャリア教育③」	目的：キャリア教育の理論と発達段階に応じた指導の必要性と具体を知る。	講義 「発達段階に応じたキャリア教育④」 地域と協働して進めるキャリア教育の必要性」	目的：学校と地域が協働したキャリア教育の具体について考える。	事例発表・協議 「発達段階に応じたキャリア教育⑤」の進捗を協議して」	目的：校種別に学校と地域の協働によるキャリア教育の具体を考え、成果と課題を整理する。						

【第3日目】	8:30	10:00	10:15	12:00	13:00	17:00
	8:30	10:00	10:15	12:00	13:00	17:00
講義 「発達段階に応じたキャリア教育⑥企業や行政との協力体制の構築とキャリア教育の創造」	休	講義・演習 「キャリア・カウンセンシングの理論と実践について」	休	講義・演習 「キャリア教育の現状や身につけさせたい資質・能力を踏まえた指導計画作りを通して、キャリア教育推進のためのプログラム開発」	休	休
第1回 8月30日 (水)						
第2回 10月25日 (水)						
目的:児童生徒の現状や身につけさせたい資質・能力を踏まえた指導計画作りを通して、キャリア教育推進のためのプログラム開発に必要な知識・方法を得る。						

【第4日目】	8:30	10:00	10:10	10:50	11:00	14:50	15:00	17:00
	8:30	10:00	10:10	10:50	11:00	14:50	15:00	17:00
講義・演習 「キャリア・カウンセンシングの基盤としてのコミュニケーションスキルの向上」	休	課題協議 「新学習指導要領とキャリア教育②キャリア・パスポート」	休	講義・演習 「学校における教育活動全体を通して行うキャリア教育の展開方策」	講義・演習 「キャリア教育の視点を生かした学校経営の理論と具体的なリーダーシップの在り方について考える。」	休	講義・演習 「PDCAサイクルを踏まえた指導計画等の評価・改善手法」	休
第1回 8月31日 (木)								
第2回 10月26日 (木)								
目的:先達事例等から、効果的にキャリア教育を進めるための企業や行政との連携方策を学ぶ。								
目的:キャリア教育の視点を生かした学校経営の理論と具体的なリーダーシップの在り方について考える。								
目的:キャリア教育の視点からPDCAサイクルの理論と実践を知り、キャリア教育・マネジメントのまとめにつなぐ。								
目的:キャリア教育の視点を中心とした効果的なキャリア教育の進め方								

【第5日目】	8:30	12:00	13:00	15:00	15:15
	8:30	12:00	13:00	15:00	15:15
講義 「キャリア・カウンセンシング③PDCAサイクルを踏まえた指導計画等の評価・改善手法」	休	講義・演習 「本研修の振り返り」	講義・演習 「本研修の振り返り」	講義・演習 「本研修の振り返り」	講義・演習 「本研修の振り返り」
第1回 9月1日 (金)					
第2回 10月27日 (金)					
目的:全体計画と年間指導計画を評価し、改善につなぐ。本研修を通じて進めてきたキャリア教育・マネジメントをまとめる。					
目的:本研修の5日間を振り返り、研修内容等について整理するとともに、各地域での研修講師を務めるに当たっての留意事項等の情報交換を行う。					
目的:キャリア教育における個別支援の必要性を知り、その実践について体得する。					

平成29年度キャリア教育指導者養成研修(第 回)

推薦名簿

都道府県市・国立大学
・学校名等

コース (※注1)	推薦 順位	氏名	フリガナ	年齢 (※注2)	性別	所属				班分け 希望学 校種 (※注6)	学科 (※注7)	教科 (※注8)	備考 (※注9)	
						名称	職名 (※注3)	郵便番号	所在地					所属機関種別 (※注4)
経営 コース														
推進 コース														
<記入例>														
	1	□□□□	□□□□	□□	□	□□□□教育委員会□□課	指導主事	000-0000	00市00 0-0-00	教育委員会	00-0000-0000	小		
	2	□□□□	□□□□	□□	□	□□市立□□中学校	教諭	000-0000	00市00 0-0-00	中学校	00-0000-0000	中	国語	
	3	□□□□	□□□□	□□	□	□□県立□□高等学校	教頭	000-0000	00市00 0-0-00	高等学校	00-0000-0000	高(普)	数学	
	4	□□□□	□□□□	□□	□	□□□□大学大学院	学生	000-0000	00市00 0-0-00	大学院	00-0000-0000	高	高(普) 数学	

担当者氏名	所属郵便番号
担当者フリガナ	所属所在地
所属電話番号	所属名称
所属FAX	e-mailアドレス

【記入上の注意】 ※必ずお読み下さい

- 注1) 「推薦順位」欄は、「経営コース」、「推進コース」のコースそれぞれに推薦順位を記入してください。行が不足する場合は、適時増やしてください。
- 注2) 「年齢」欄は、平成29年4月1日現在で記入してください。
- 注3) 「職名」欄については、教職大学院の学生に当たっては「学生」と記入してください。
- 注4) 「所属機関種別」欄については、教職大学院の学生に当たっては「大学院」と記入してください。
- 注5) 「電話番号」欄には、事前提出課題の確認の際などに、当機構が受講者と直接連絡を取ることができる電話番号を記入してください。
- 注6) 「班分け希望学校種」欄には、演習班分けのため、演習班分けの際に希望する学校種(「小」、「中」、「高」のいずれか)を記入してください。また、特別支援学校、指導主事等についても、演習班分けの際に希望する学校種(「小」、「中」、「高」のいずれか)を記入してください。
- 注7) 「学科」欄には、演習班分けのため、普通学科を主とする高等学校及び中等教育学校(後期課程)の教員は「高(普)」、専門学科・職業学科を主とする高等学校及び中等教育学校(後期課程)の教員は「高(専)」と記入してください。また、学校種を「高」とした特別支援学校の教員および指導主事等についても、演習班分けの際に希望する学校種(「高(普)」、「高(専)」のいずれか)を記入してください。
- 注8) 「教科」欄には、学校種を「中」、「高」とした者の担当教科を記載してください。
- 注9) 「備考」欄には、特別支援学校担当の教員は「特別支援学校」と記入してください。

※この名簿は、本研修への受講者推薦に際し使用するものであり、それ以外の目的で使用しません。

事前提出資料 1

(「発達段階に応じたキャリア教育①縦の連携を意識して」で使用)

都道府県・指定都市名	所 属	職 名	氏 名	コース	受講者番号

1 それぞれの立場での、キャリア教育の実践の状況

2 それぞれの立場で、キャリア教育を推進する上での課題

注) 分量はA4判片面1枚以内とする。

注) グループ内配付用に本資料を研修当日に必要な部数を印刷して、持参すること。また、演習で必要と思われる補助資料等がある場合は、必要部数を持参すること。

事前提出資料 2

(「カリキュラムマネジメント①キャリア教育推進のためのプログラム開発」で使用)

都道府県・指定都市名	所 属	職 名	氏 名	コース	受講者番号

1 児童生徒や地域の実態

2 職場見学・職場体験・インターンシップ等について

①職場見学・職場体験・インターンシップ等の実施上の条件（実施時期、体験する日数、体験の受け入れ先の開拓や募集、受け入れ先との連携等、具体的な内容を簡潔に箇条書きに記すこと。）

②職場見学・職場体験・インターンシップ等の事前指導（3時間）

活動内容	児童生徒の活動	運営上・指導上の留意点 及び【育成したい能力】
1		
2		
3		

③職場見学・職場体験・インターンシップ等の事後指導（3時間）

活動内容	児童生徒の活動	運営上・指導上の留意点 及び【育成したい能力】
1		
2		
3		

3 地域や学校で取り組んでいるキャリア教育の特色

注) 分量はA 4判片面4枚以内とする。

注) グループ内配付用に本資料を研修当日に必要な部数を印刷して、持参すること。

注) 児童生徒用学習プリント等を作成している場合はA 4判に拡大縮小して添付すること。